

市の財政のイロハ、予算の見方がわかる

3. 20 学習交流会

～市民ファーストの上尾市財政実現に向けて～
賛同される議員の参加を呼び掛けています。

3月20日(金・祝)午後3時開会

コミュニティセンター視聴覚室 資料代 500円

講師：渡辺繁博（埼玉自治体問題研究所事務局長・AAN世話人）

2020年度予算を審議する定例市議会が開会中です。市議会の構成が大きく変わってから初めての予算審議です。汚職と不正、私利私欲がまかり通ってきたこれまでの財政運営を刷新し、市民の声が反映するまっとうな予算実現に一步を踏み出す予算議会にすることができると、注目されます。

市民本位の財政を実現していくためには、議員、職員、市民が財政のしくみや制度について知り、予算編成や決算などを通じて上尾の地域特性や市民の意見や要望を反映させていく努力が必要です。

今回の学習会では、①財政用語や市財政のしくみを一から学ぶ、②上尾市財政の大まかな特徴を知る、③20年度予算を見る視点と重要施策を考える、の3点について学習し、意見交換したいと思います。

市民の生活と権利にかかわるほとんどすべてのことは、市長の提案する予算案に計上され、それを審議、採決する議会で決められます。主権者である市民は、選挙における投票と、日常的な市政と市議会への監視、苦情や提案などによって主権者の意思に基づく行政・財政運営を実現していくことが必要になります。

市政の水準は、市議会（議員）の水準、市民の水準によって決まります。賢い市民、賢い議員の存在こそが、賢い市政、市民に顔を向ける職員を生み出す力です。

財政のイロハを学び、市民のために税金を使う当たり前な市政にする一步を踏み出しましょう。

AAN(オール上尾市民活動ネットワーク)・上尾の図書館を考える会

連絡先

○大友 090-4228-8726 ○土屋 080-6784-4206

○若島 070-6510-2639 ○瀬田 080-7881-3292

メールの場合のアドレス

hiromi194011@gmail.com

